

- 佐世保市南部を中心に部会員305名、栽培面積410ha、生産量8,873t(H30)、**園地登録園制度**による「**味っ子**」「**味まる**」**ブランド商材**で、全国上位の産地
- 近年の異常気象のなか**ブランド商材の安定供給**と、産地維持のため**農地整備と省力化対策**等が課題
- ブランド商材づくり対策は、長雨等の影響により低品質の中、生産管理対策等により**ブランド率68%を堅持**。産地維持対策は、**新改植事業実施面積11.9ha**、スマート農業実証等の取組により農家の規模拡大に貢献

### 具体的な成果

### 普及指導員の活動

#### 1 園地登録園制度の支援

■実績:「西海みかん」**ブランド率68%**

(目標達成率81%)

梅雨明け期の遅れ、8月下旬～9月上旬の曇天・長雨・台風の影響により、低糖低酸品質の中、シートマルチ被覆率98%等の取組でブランド率7割程度を堅持した。

■**出荷見込量10,206t**(検見数量前年比98%)で前年並に確保した。

■**スリップス等発生情報の定期的発信**で部会員の防除意識向上が図られた。



平成31年

- 4月以降、講習会等によりブランド率堅持と生産量確保に向けた栽培管理、販売対策等を支援、特に8～9月緊急的なシートマルチ開閉、果皮障害対策の植調剤活用検討会開催とその展示圃を設置した。
- 5～10月に粘着トラップでのスリップス発生予察、病害虫対策チラシを作成した。

平成31年

- 新改植の果樹経営支援対策事業(国庫)を中心とした各種事業の推進(6,1月)と事業計画書等作成(4～2月)を支援した。
- 基盤整備園の苗木導入の検討(4～2月)と、大苗生産マニュアルを検討(2月)した。

#### 2 各種事業の推進、支援

■実績:「西海みかん」**新改植面積11.9ha/年**

(目標達成率119%)



みかん改植園

■園内道6.3ha、シートマルチ巻上装置6.6haの省力技術事業導入、宮長基盤整備園の大苗6,500本導入方針を策定した。

平成31年

- 4月以降、関係機関(スマート農業コンソーシアム)と連携し、スマート農業実証一貫体系技術の機器類と各システムの導入を検討、技術実証のためのデータ収集、試験を実施した。

### 普及指導員だからできたこと

#### 3 スマート農業の実証

■かんきつのデータ駆動型スマート農業実証一貫体系技術の**機器整備と実証を開始**した。



気象ロボット



西海型マルドリ栽培かん水コントローラー

■地域の課題を研究成果情報を基に、**発信力のある若手の担い手による展示圃設置等の指導手法**によりブランド率堅持と生産量確保を図ることができた。

■日頃から部会役員、JA、研究機関、県市行政、企業等とコーディネーター役として連携性を高め、**事業導入や新技術等の取組**を進めることができた。